



MACP-CTM3C

取扱説明書



この度は弊社製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。本取扱説明書にはソフトウェア・ドライバのインストール方法及び製品使用方法などの重要情報と取扱上での注意事項を説明しています。ご使用する前に必ず本書をお読み下さい。

- Windows 及び Windows ロゴは米国 Microsoft 社の登録商標または商標です。
- mathey は株式会社デンノーの登録商標または商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名は各社の登録及び登録商標です。本書に記載の他社商品名は参考を目的とした物であります。
- 本書には正確な情報を記載するように努めましたが、誤植や制作上の誤記がないことを保証するものではありません。
- 本取扱説明書に記載されている情報及び本製品の製品仕様は、機能改善のため予告なしに変更される場合がございます。

株式会社 デンノー

〒335-0002 埼玉県蕨市塚越 5-14-8

ホームページ:<http://www.mathey.jp/>

目次

第1章 はじめに	3
1.1 取り扱い上の注意	3
1.2 製品仕様	4
1.3 製品の動作環境	4
1.4 製品保証について	7
1.5 製品およびサポートについて	5
第2章 本製品を使用する前の準備	6
2.1 製品の各部名称について	6
2.2 製品の接続方法について	8
2.3 Audacity のインストールについて	9
第3章 カセットのキャプチャ方法について	12
3.1 Audacity の初期設定について	12
3.2 Audacity を利用したカセットの取り込み	14

第1章 はじめに

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、弊社製品を正しくお使いいただくために必要な事項や、使用上注意していただく点について説明しています。お使いになる前に必ず本書をお読みください。お読みいただいた後は、大切に保管して下さい。この取扱説明書には本製品のインストール方法、本製品の使用方法等が記載されています。

1-1 取り扱い上の注意

本体の故障を防ぎ、安定した状態でご使用いただくために、日常の使用にあたっては次のような点にご注意下さい。

▲ 注意 本製品を使用中に本体転送中のデータやプログラムの消失、又は製品破損についての保証はいたしかねます。

データが消失した場合等、定期的にバックアップをすることにより被害を最小限に抑えることができます。データを消失、破損した場合は弊社がその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

▲ 警告 製品は絶対に分解・改造をしないで下さい。

製品を、一度でも分解・改造された場合、保証・修理はお受けしかねますのでご注意ください。

▲ 注意 データ転送中や書き込み中はケーブルを抜きしないで下さい。

コンピュータ本体やメディアにダメージが生じる恐れがあります。

▲ 注意 本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内向けです。

日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。

▲ 注意 次のような場所での使用、保管は避けて下さい。

※水がかかる場所、湿気が多い場所、湿度変化の激しい場所での運用は故障の

原因となることがあります。

※腐食性ガス気体、ホコリの多い場所では火災感電の原因となることがあります。

※直射日光のあたる場所、熱器具など熱を発生するもの近くに置かないで下さい。本体が変形したり故障や火災、感電の原因となる場合がございます。

▲ **注意 有機溶剤によるクリーニングはしないで下さい。**

装置の材質を侵す危険があります。

▲ **カセットプレイヤーとして使用する場合、音量にご注意下さい。**

適切な音量で使用しなかった場合、耳を傷める恐れがございます。必ず最適なボリュームに調節してご利用下さい。

▲ **指定のカセットテープ以外は使用しないで下さい。**

本製品はノーマルポジションのテープのみ対応いたします。メタルテープ、及びハイポジション(クロムテープ)には対応をしません。対応しないテープを入れた場合、テープを痛める恐れがございます。

1-2 製品仕様

- インターフェース： USB2.0 mini USB コネクタ B
 - 対応フォーマット： WAV、MP3(最大ビットレート 320)
 - 音声出力端子： 3.5mmステレオミニプラグ
 - 対応テープ： ノーマルポジションテープ
 - 対応機種： Pentium4 以上の CPU メモリ 512MB 以上
 - サイズ / 重量： 79(D)×112(W)×30(H)mm / 約 170g
 - 電源：USB / バスパワー / 単三乾電池 2 本(単三乾電池は別売りです)
- ※オキシライド電池は搭載をしないで下さい。

1-3 製品の動作環境

- 対応 OS： Windows8、7、Vista、XP
- USB2.0 ポートを持つ Pentium4 以上及びに同等の CPU 搭載機種
- 搭載メモリ 512MB 以上を推奨
- DirectX9 対応グラフィック / VRAM 64MB 以上
- 32bit カラー表示可能なディスプレイ(解像度 1024×768 以上)
- HDD1GB 以上の空き容量(ソフインストール)
- 8cmCD-ROM に対応をした CD/DVD ドライブ
- パッケージ同梱品 製品本体、CD-ROM、保証書、イヤホン
- 保証期間 製品ご購入日より 6ヶ月間

1-4 製品保証について

本製品の保証期間は6ヶ月間です。保証期間内において、お客様の正常なご使用状態で本製品が故障した場合には、無償で修理、又は新品交換を致します。ただし誤った使い方や事故等による故障、又はお客様が機能の変更等を行われた場合についての保証は致しかねます。なお、この保証は故障により生じた如何なる製品への損失に対しても責任を取るものではなく、お客様のコンピュータ、映像機器、記録されたデータ等についても保証対象外とさせていただきます。万一の場合がございますので、重要なデータ等は定期的にバックアップをとる事を強くお勧めします。本保証は製品本体に対してのみ有効です。本製品に搭載されたテープ本体、及びにテープ内に記録された情報に関しましては弊社ではいかなる場合も一切保証は致しませんのでご注意ください。

1-5 製品およびサポートについて

・製品およびサポートに関するお問い合わせは、弊社サポートまで、
Eメールにてご連絡下さい。 E-Mail support@mathey.jp
受付時間:月～金(祝祭日除く) 10:00～12:00 13:00～17:00

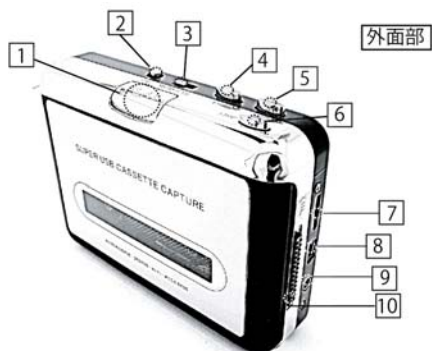
第2章 本製品を使用する前の準備

本製品は付属キャプチャソフト**Audacity**をインストールすることにより、カセットからの音声を簡単にパソコンへ取り込めます。又、本製品は単三乾電池2本を搭載する事により、ポータブルカセットプレイヤーとしても使用をする事が可能です。

2-1 製品の各部名称について

製品は下記の通り、構成をされております。

2-1-1 各部の名称(製品外面部)



①再生ボタン :カセットの再生を行います。

②A面/B面ボタン :カセットを反転させA面とB面を切り替えます

③オートリバース切り替え :オートリバースON/OFFを切り替えます。

④早送りボタン :カセットを早送りします。

⑤巻き戻しボタン :カセットを巻き戻します。

⑥停止ボタン :再生中のカセットを停止します。

⑦ボリュームコントロール :本製品のボリュームをコントロールします。

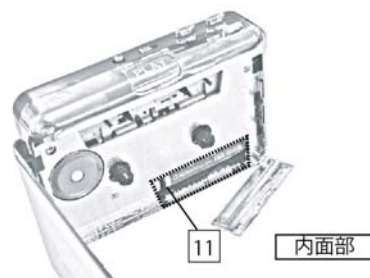
⑧USBminiBコネクタ :パソコンののUSBポートと接続します。

⑨3.5mmオーディオジャック :カセットプレイヤーとして使用する際に

付属のイヤホンを接続すると音声が出力されます。

⑩イジェクトレバー :カセットを搭載、取り出す際に使用します。下に
押すとカセットカバーが開きます。

2-1-2 各部の名称(製品内内部)



⑪乾電池スロット :単三乾電池を2本搭載する事により、乾電池で駆
動する事ができます。

2-1-3 製品使用時の注意点

※1 早送り及びに巻き戻し、テープの取り出しを行う際は、必ず事前にテープの再生を停止させてから行ってください。停止を行わず作業を行った場合、テープを痛める恐れがございます。

※2 単三乾電池はカセットプレイヤー機能使用時のみ搭載して下さい。電池を入れる際は搭載向きに間違いが無いように入れてください。

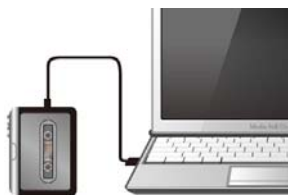
又、オキシライド電池は使用しないで下さい。

※3 本製品はノーマルポジションのカセットテープにのみ対応をいたします。メタルテープ、及びにハイポジション(クロムテープ)には対応をしません。対応しないテープを入れた場合、テープを痛める恐れがございます。

※4 カセットプレイヤーとして使用する場合は、ヘッドフォン装着前に製品本体のボリュームが適切なレベルになっているか必ず確認をしてからご利用下さい。

2-2 製品の接続方法について

2-2-1 カセットを本製品に搭載後、付属のUSBケーブルを本製品に取り付け、下図の様にパソコン本体のUSBポートに接続します。

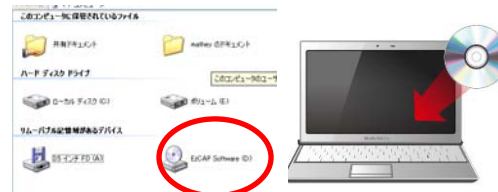


2-2-2 初めて使用時、接続するとOS上で自動的にドライバが組み込まれます。これでPCとの接続は完了です。

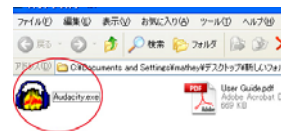
2-3 Audacityのインストールについて

Audacityのインストールを開始前にOS上で起動している全てのアプリケーションを終了して下さい。コンピュータのCDドライブにドライバCDをセットします。本製品付属のドライバCDは8cmタイプとなります。ご利用になられているCDドライブが8cm CDに対応をしているかどうか、事前に必ずドライブ製造元又はコンピュータ製造元へお問い合わせ下さい。

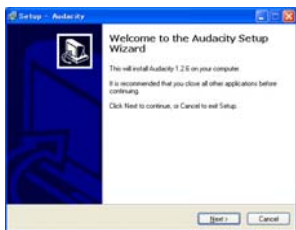
2-3-1 ドライバCD読み込み後、マイコンピュータをクリックし、CDドライブのアイコンを開きます。



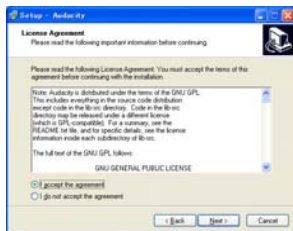
2-3-2 ドライバCD内を開き、中の「Audacity.exe」を実行します。



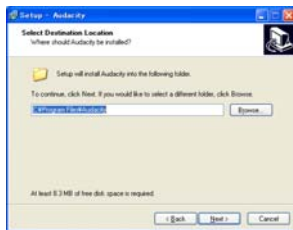
2-3-3 下記の画面が表示されますので、「Next」をクリックします。



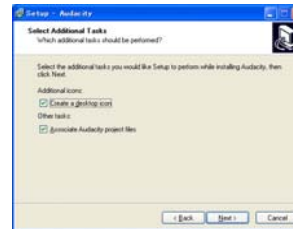
2-3-4 使用許諾契約に関する画面が現れるので、「I accept...」にチェックを入れ、「Next」をクリックします。



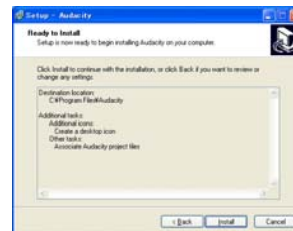
2-3-5 ソフトウェアのインストール先が表示されます。通常は変更などは行わずにそのまま「Next」をクリックして下さい。



2-3-6 下記の画面が表示されましたら「Next」をクリックします。



2-3-7 下記の画面が表示されましたら「Install」をクリックし、ソフトウェアのインストールが始まります。



2-3-8 下記の画面が表示されましたらAudacityのインストールは完了です。デスクトップ上にAudacityのショートカットが表示されます。



第3章 カセットのキャプチャ方法について

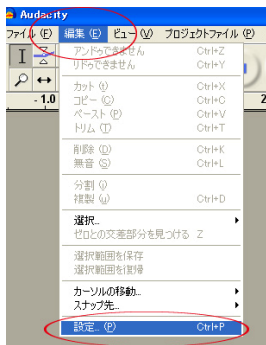
本製品はPCとUSBケーブルで接続後、付属ソフト **Audacity** を使用し、カセットテープのキャプチャを行います。ご利用になる際は、Audacity を起動する前に必ず製品をパソコンのUSBポートに接続してください。キャプチャの方法は以下になります。

3-1 Audacity の初期設定について

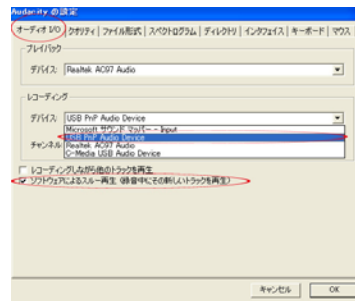
3-1-1 デスクトップ上にある **Audacity** のショートカットアイコン又はスタートメニューすべてのプログラムより「**Audacity**」をクリックします。



3-1-2 Audacity が起動しますので、始めに初期設定を行います。ソフトウェア内の上部にある「**編集**」タブをクリックし、中の「**設定**」をクリックします。

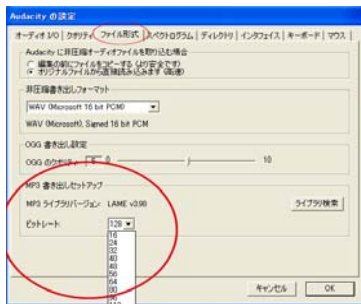


3-1-3 下記の画面が表示されるので、「**オーディオ I/O タブ**」をクリックし、「**レコーディングデバイス**」の項目で本製品「**USB PNP Audio Device**」を選択します。本製品の表示が一覧に無い場合、一度 Audacity を終了し、プログラムを再度起動して下さい。



3-1-4 続いて「**ソフトウェアによるスルー再生**」にチェックを入れます。もし「レコーディングをしながら他のトラックを再生する」にチェックが入っている場合は、チェックを外して下さい。

3-1-5 続けて作成されるMP3ファイルの品質を設定します。上部の「**ファイル形式**」タブをクリックします。メニュー下の「**MP3書き出しのセットアップ**」内の、**ビットレート**を選択します。ビットレートが大きいほど音質が向上しますが、ファイルサイズが大きくなります。デフォルトの状態では128が選択されています。

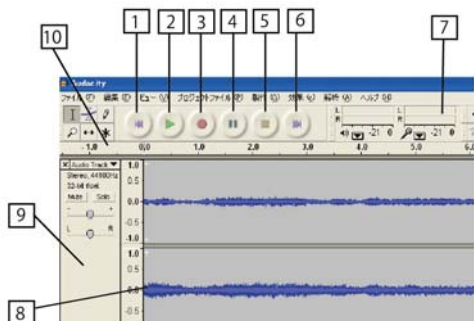


3-1-6 「OK」を押すと設定が完了します。続けてAudacityを使用し、実際にカセットの取り込みを行います。

3-2 Audacityを利用したカセットの取り込み

初期設定が完了しましたら、続けてAudacityを使用してカセットの音声を取り込みます。

3-2-1 Audacityの各部名称に関しましては以下になります。



①戻るボタン

録音した音声を再生している際に、最初の位置まで進めます。

②再生ボタン

作成したファイルを再生します。再生が可能なのはオーディオトラックを1つ作成時のみです。複数のオーディオトラックを作成した場合、全てのトラックが同時に再生をされます。

③録音ボタン

このボタンをクリックすると録音が始まります。

④一時停止ボタン

再生/録音を一時停止します。

⑤停止ボタン

再生/録音を停止します。

⑥進むボタン

録音した音声を再生している際に、最後の位置まで進めます。

⑦録音デバイスボリュームメーター

録音のレベルをコントロールします

⑧オーディオ波形

録音した音声を視覚で分かる形式で表示されます。視覚表示の幅が大きい程、音量のレベルが高い事を現します。

⑨オーディオトラック

録音ボタンを押すとオーディオトラックが作成されます。録音を停止し、再度録音を開始すると新たに別のオーディオトラックが作成されます。

⑩時間表示(秒単位)

録音の時間が秒単位で表示をされます。

3-2-2 次に、カセットより音声を取り込みます。**製品本体の再生ボタン**を押し、カセットを再生します。



3-2-3 Audacity内上部の**録音ボタン**をクリックします。現在再生中のカセットの音源がパソコン内に保存されます。録音デバイスボリュームレベルメーターを参照し、**製品本体のボリュームつまみ**を最適なレベルに調節します。

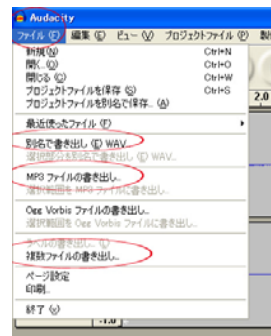


3-2-4 録音を停止する場合は、Audacityの**停止ボタン**をクリックして下さい。録音停止後、併せて**製品本体の停止ボタン**を押し、カセットの再生を停止します。



3-2-5 録音が完了したら作成したファイルを保存(書き出し)します。上部メニューのファイルをクリックします。以下の画面が表示されます。Audacityでは**WAV形式**と**MP3形式**にてファイルの保存を行う事ができ

ます。WAV形式とMP3形式の違いは以下になります。



(WAV形式)

CDと同品質の非圧縮形式です。音質に優れますが、ファイルサイズが大きく、一般的なオーディオプレイヤー等では再生が出来ない場合がございます。

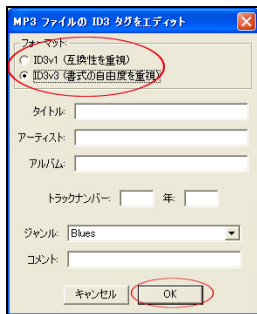
(MP3形式)

圧縮形式のため音質がWAVに比べて若干下がりますが、ファイルサイズが小さく、一般的なオーディオプレイヤーやスマートフォン等でも再生ができます。※通常の場合、取り込んだ音楽ファイルはMP3形式での保存をお勧め致します。

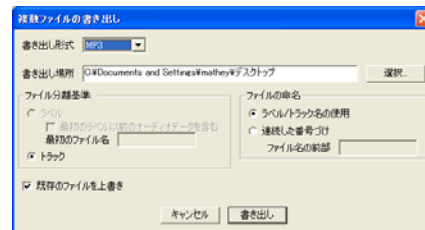
3-2-6 「**別名で書き出し(E)WAV**」を選択すると**WAV形式**で作成ファイルに名前を付けて保存します。「**MP3ファイルの書き出し**」を選択すると**MP3形式**で作成ファイルに名前とタグを付けて保存します。オーディオトラックを複数作成した場合は、「**複数ファイルの書き出し**」を選択する

事により作成したオーディオトラックを個別にファイル出力します。(本項目は複数のオーディオトラックを作成した場合のみ選択して下さい。)

3-2-6-1 MP3形式を選択した場合に限り、以下のタグ作成画面が表示されます。タグのフォーマットに関しましては、互換性に優れたID3v1をお勧め致します。必要事項を記入、又は空白のままOKを押します。ファイルの変換が始まり、指定先にファイルが作成されます。



3-2-6-2 複数のファイルの書き出しを選択した場合に限り、以下の画面が表示されます。書き出し形式を選択し、書き出しをクリックします。



3-2-6-3 書き出し形式にMP3を選択した場合、同様にタグの入力画面が表示されます。必要事項を記入、又は空白のままOKを押すとファイルの変換が始まり、指定先にファイルが個別に作成されます。

3-2-7 以上で完了です。保存をしたファイルがMP3形式の場合、一般のデジタルオーディオプレイヤーやスマートフォンに転送をする事により、再生する事が可能です。作成したファイルより音楽CDを作成する場合は、別途市販のオーサリングソフト等をご利用下さい。